



TOKYO ROPPONGI ROTARY CLUB



Weekly Report

気軽に、チャレンジ、Rotary
東京六本木ロータリークラブ会長
令和2年9月14日発行 第641号
2020・2021年度 No.5

本日のプログラム

令和2年9月14日
イニシエーションスピーチ
梶川 融会員
場所 グランドハイアット東京

クラブからのお知らせ

令和2年9月7日

会長挨拶

本日、9月7日は私事ではございますが、わたくしの誕生日です。誕生日当日にクラブの皆様とともに例会に参加できたことを大変嬉しく思います。

クラブとしては、午前中に伊藤ガバナー補佐と兒嶋グループ幹事をお迎えして、クラブ協議会を開催し、クラブの活動方針などの意見交換をさせていただきました。

また本日は、伊藤ガバナー補佐より『ロータリーの新時代を迎えて』という事で卓話をおはなしいただきます。新型コロナウイルスの影響により今後のロータリーの在り方も大幅に変化していくと思いますので、これからの対応について、考えるきっかけになるのではないかと思います。

(記:高柳会長)

幹事報告

本日の幹事報告は以下の2点です。

- 六本木クリーンアップは、新型コロナウイルス感染症拡大の収束が未だ見えないため、しばらくの間中止となりました。再開の目途が立ちましたら皆さんにお知らせいたします。
- 9月の例会は、本日を含め3回開催予定です。来週14日は、梶川さんのイニシエーションスピーチ、28日は平川さんのイニシエーションスピーチを予定しております。

(記:鈴木幹事)

各委員会報告

第2750地区・地区公共イメージセミナー報告

令和2年8月26日に第2750地区の地区公共イメージセミナーが開催され、当クラブから片岡委員と安井秀行委員に出席頂きました。

参加された他クラブの方から、六本木ロータリークラブのホームページに対して高い評価を頂きました。クラブ広報支援委員会委員長の濃畠様からも、直接、「大変良いサイトで、他クラブも参考になる。」とのコメントを頂きました。

また、9月7日の第2回クラブ協議会においても、伊藤ガバナー補佐から同様の評価を頂きました。

六本木ロータリークラブのサイトは、コンテンツが豊富で、きちんと更新されており、また例会の状況もよくわかり、大変素晴らしいと改めて思いました。これも、今まで広報委員、広報・週報委員を務めて来られた皆様の地道な努力の賜物と思います。

今後も、継続して、より充実したホームページを作成していきたいと思いますので、引き続き皆様のご支援・ご協力の程、宜しくお願い致します。

(記:安井地区クラブ広報支援委員、高倉広報・週報委員長)

第二回クラブ協議会報告

令和2年9月7日

9月7日11時30分より、伊藤ガバナー補佐、兒嶋グループ幹事をお迎えし、本年度第二回クラブ協議会がレジデンスバジルで開催されました。高柳会長からはクラブの紹介と会長方針、各委員長の皆さまには活動方針を発表いただきました。伊藤ガバナー補佐から、入会3年未満の会員代表として出席いただいた平川さんへクラブの印象や入会後の感想について質問がありました。また、クラブ戦略計画やコロナ禍における親睦活動のあり方などに関する質疑応答がなされました。当クラブのホームページについてご興味を持っていただき、更新頻度や充実した内容にお褒めのお言葉もいただきました。

最後に安部監事より講評いただき、無事に閉会となりました。お忙しいところ皆さまにご出席いただき、有意義な会となりましたことを感謝申し上げます。



(記:鈴木幹事)

山の手東グループガバナー補佐 伊藤 千恵様

今年度、山の手東グループのガバナー補佐を務めさせていただきます、伊藤千恵です。

所属は、東京恵比寿ロータリークラブです。どうぞよろしくお願ひいたします。

私がロータリークラブに入会させていただきましたのは恵比寿ロータリーが誕生した1995年のことです。ロータリーは、多くの素晴らしい出逢いをもたらしてくれます。クラブ内に留まらず、同じ年度を共にした、他クラブの方々との出逢いも、人生を豊かにしてくれます。



私は小さな会社の社長で、いわば「お山の大将」です。ロータリーは、そのような私に様々な気付きや学びを与えてくれます。ですので、自己研鑽のためにと続けておりましたら、25年という年月が経っておりました。

国際ロータリー第2750地区は、第2ゾーンであり第2地域に属し、東京都南部の8つのグループと、グアム、サイパン、ミクロネシア、パラオをはじめとするパシフィックベイスングループを含む、9つのグループで構成されています。会員数は、5月末現在の数字ですが、国内89（7月1日現在88）クラブで4,544人、地区98（7月1日現在97）クラブで4,813人。内、女性会員が、国内で478人（10%強）、地区全体で554人（11.5%）。外国人も多い、多様性のある、日本のリーディング地区とも言われている地区です。

その中の、われわれ山の手東グループは、会員数675人、内、女性会員が123人で18%強と、わが国の中でも女性会員の比率が高く、年齢層も幅の広い、ダイバーシティの進んだグループです。

今年度のRI会長は、ホルガー・クナークさん、ドイツの方です。掲げられたテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。

そして、2750地区のガバナーをお務めになられますのは、東京銀座ロータリークラブの福原有一さんで、「バリアフリー・マインド」を提唱しておられます。

当地区の女性の比率は11.5%ですが、私が初めて地区に出向いたしました1998-99年度は、女性会員は僅か3%ほどでした。地区出向も、女性として初めてで、「ロータリーは男の口マンだ」と言われていました。

当時の村野順三ガバナーは、ロータリーの将来を見据え、女性や若い人に入っていただきこう！と、旗を振られました。

そこで、ガバナー月信で、女性ロータリアン、若いロータリアン、それぞれとガバナーとの座談会を企画しました。女性ロータリアンの人選は、その年度、当地区初の女性会長となられた世田谷中央ロータリーの坂本旦子（あさこ）さんと、恵比寿ロータリーの榎原節子さん、そして、当地区最古の女性会員の伴よし子さんに「先駆者代表」ということでお願いをしました。その際、伴さんは、「頑張らないと、もう女性は入れてもらえないんじゃないか」と思い、必死で頑張りました」「白を黒だと言わなくても、はい、と言って必死でついて行きました」とおっしゃったのです。今、私たち女性が心置きなく活動ができるのは、こうした時代を切り開いてくださった女性たちのご苦労、ご努力の上にある、と痛感いたしました。

と共に、当時は「男の口マン」とおっしゃっていた、男性方のご理解とご協力もいただけたからこそであると思います。

今は大変革期です。社会の変化を受けて、ロータリーも変化しなければなりません。ロータリーは、2018-19年度に、ロータリーの新しいビジョン声明を発表しました。「私たちは世界で、地域社会で“そして自分自身の中で”持続可能な良い“変化”を生むために人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」。

そして、2019-20年度には、従来の戦略計画に変わり、行動計画が発表されました。行動計画はビジョン声明の実現を支えるものであり、4つの「戦略的優先事項と目的」が挙げられています。

1つ目、「より大きなインパクトをもたらす」

- ポリオを根絶し、残された資産を活用する、とあります。残された資産を活用、というのは、ポリオプラスの「プラス」で、他の感染症の根絶にも活用できる、ということです。コロナは、まさにポリオプラスなのですね。
- 次のロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる、というのは、少し分かりづらいですが、「行動人」として奉仕活動で経験したことが、より大きなインパクトを人に与えることにつながる、ということです。

2つ目、「参加者の基盤を広げる」

「参加者」というのは、いわゆるロータリーファミリーといわれる人たち、ローター・アクター・インター・アクター、家族、地域社会の人です。ロータリーと組んで一緒にやると広がりも大きくなるので「一緒に奉仕したいね」、となるとよいですね、ロータリアンになる人の多様性を目指しましょう、ということです。

また、「新しい経路」というのは、知り合いだけではなく、入ってくる道を広げる、ということです。RIはそれを奨励しています。それを踏まえて、自クラブはどうするか。今までの概念だけに捉われることなく考える。それがクラブの戦略計画を考えることにつながり、ビジョンとなります。

3つ目、「参加者の積極的なかかわりを促す」

今まででは受益者中心で支援してきましたが、それだけではなく、支援している人たちも満足できるようなプロジェクトをしましょう、ということです。支援を行う人の思いをよく調べ、ある程度汲み取って行うことが、参加者を増やし、プロジェクトも発展していく、とRIは考えているのです。

4つ目、「適応力を高める」

これは、変化というものに対して、積極的になりましょう、ということです。

今回のコロナ感染拡大で例会ができない状況になり、無理やりでもインターネットを使わざるを得ない、などという事態となりました。今回のようなことがなければ、なかなか体制を変えることはできないものですが、あえて新しい組織、やり方を考えて適応していく、力を持ったロータリーとなりましょう、ということです。

新たな行動計画を立てたことを、RIでは、次のように言っています。

「今日の世界は、ロータリーが誕生した1905年の世界とは異なります。人口構成は変わり、変化の速度は増し、テクノロジーによってネットワークと奉仕のための新しい機会が生まれています。しかし、変わらないこともあります。それは、親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ、つまりロータリーを定義する価値観に対するニーズです。ロータリーの新しい計画によって、私たちは過去を称えながら未来を受け入れていけるでしょう。私たちは進化を続け、人びとにとての重要性が高いロータリーの更なる成長を促していくことができます」。

この行動計画が立てられたのは、コロナよりも前なので、われわれは、コロナによって、RIの考え方や行動計画の意味に気付かされた、あるいは、気付くべきだとも言えます。

世の中は変化しています。それを踏まえて、ロータリーを、自クラブをどうしていくのか。情報を知り、RIの考え方も踏まえて、自分たちの在り方を考えていくことが求められているのだと思います。

実際、新型コロナウイルスの影響で、昨年度後半より、例会の開催も、Zoomなどのweb例会、通常の形とweb合わせたハイブリッドの例会など、待ったなしで新たなチャレンジを余儀なくされました。

そしてITの活用が促され、例会の在り方に多様性ができたことによるメリットも出てきました。

仕事上、健康上などの理由で例会場には行けない人にも、オンラインでの出席はプラスとなります。ITに抵抗がある方、苦手な方も、クラブ内の詳しい若いメンバーにセットアップしてもらい、Zoomができるようになって世界が広がった、孫とZoomで会えるようになった、と喜ぶ人も出てきました。そしてそのことにより、クラブ内の課題であった、年長者と若い人の融合が図れた、との効果も出ているようです。これまでなかなか来ていただけなかった海外にいらっしゃる要人などの卓話も、オンラインでは実現でき、出席率も上がった、とのご報告もいただいております。

ITをうまく活用すれば、様々な課題が解決でき、あらゆる可能性が広がるということだと思います。

また、コロナウイルス感染拡大で例会が開催できなかった時にも、多くのクラブが支援活動を行いました。「こんな時、ロータリーは何もしないのか、できないのか、」となってしまうとロータリーの意義を感じず、退会してしまう方も出てくるかもしれません。しかし、「このような時だからこそ、ロータリーだからこそこんな奉仕活動ができるんだ」となると、「一人ではたいしたことはできないけれど、ロータリーに入れば社会に役立つ有意義な活動ができる」、と思い、引き続きロータリアンでいる、あるいはそういう思いの人が入会してくださる、という、退会防止・増強にもつながり、会員基盤の強化にも結果としてなると思うのです。

そういう意味でも、今、まさにロータリーの意義、真価が問われているのではないでしょうか。

RI会長のテーマのように「機会の扉」を開け、時代に合わせてロータリーも変化させる。多様性をもってロータリーの魅力と力を高めていく。そして、有意義な奉仕活動を行っていく。そのために、皆で考えて、それぞれのクラブがそれぞれの形で新しいロータリーの追求と創造に前進し、魅力的なクラブづくりに取り組んでいく。

折しも、今年は日本のロータリーが100周年を迎える、節目の年です。

今年度がロータリーの新しい時代の礎を築く年度と捉え、認識を新たに取り組む第一歩となるのではないか。世の中は確実に変わるので、進歩になることは間違ひありません。

これまでのロータリーの魅力を大事にしつつ、新しい魅力も加わって、より楽しく有意義なロータリー活動ができることを願いまして、話を終えさせていただきます。

ニコニコBOX情報

伊藤 千恵さん(国際ロータリー第2750地区山の手東グループ2020-21年度ガバナー補佐)

本はどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

兒嶋 三枝さん(国際ロータリー第2750地区山の手東グループ2020-21年度グループ幹事)

本はどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

淺田 豊久さん

伊藤ガバナー補佐のご参会に感謝申し上げます

角山 一俊さん

風にも負けず、台風にも負けず、コロナにも負けず、ロータリーもガンバリましょう！

柏原 玲子さん

伊藤千恵ガバナー補佐、兒嶋三枝グループ幹事、ご多忙の中お忙しい中、有難うございます。本はどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

カトー エミイさん

みなさま夏のお疲れが出来ませんように。“しょうが”を刻んでごはんにまぜてみて下さいね。

剣物 美紀子さん

今月から通常に例会が開催される予定で嬉しいです。

中川 勉さん

だいぶん過しやすくなりましたね。

大橋 裕治さん

コロナがなかなか治まりませんが、皆さんくれぐれもお気をつけてお過し下さい。

齋藤 明子さん

伊藤ガバナー補佐・兒嶋グループ幹事、六本木RCへようこそお越しくださいました。本日はよろしくお願いいいたします。

鈴木 聰子さん

伊藤ガバナー補佐、兒嶋グループ幹事、本日はお越しいただきありがとうございます。

高柳 公康さん

伊藤ガバナー補佐、兒嶋グループ幹事、六本木ロータリークラブへようこそ。そして、本日わたしの誕生日当日です。

鳥居 正男さん

コロナ、台風、政治の混乱と落ち付かない毎日ですが健康管理をしっかりするのが一番です。

宇佐見 千嘉さん

久しぶりのロータリーです。

渡辺 美智子さん

伊藤ガバナー補佐、兒嶋グループ幹事、本日はどうぞ宜しくお願いいいたします。

高倉 太郎さん

台風の被害が大きくないことを願っております。

9月7日 合計 54,000円 累計 219,000円

9月7日のお食事

東京六本木ロータリークラブ

Menu

Carrot velouté, cumin croutons, sour cream
人参のヴルーテ クミンクラトン サワークリーム

Grilled US beef sirloin, béarnaise sauce
Sautéed potatoes, pan-fried assorted mushrooms
US ビーフサーロインのグリル ベアルネーズソース
ポテトと茸のソテー

Vegetable salad
野菜サラダ

Mont Blanc cake, pear ice cream
モンブラン 洋梨のアイスクリーム

Coffee
コーヒー



2020年9月7日(月) 2階 コリアンダー
グランドハイアット 東京

9月7日の例会出席率(暫定)

- 会員の例会出席数(出席率) 35名(71%)
- ゲスト・ビジターの参加者数 2名

※メーフィヤップを含めていない暫定の人数です。

次回のプログラム

令和2年9月28日
イニシエーションスピーチ
平川 彰会員
場所:グランドハイアット東京